

ICT日米教員交流プログラム

ICT日米教員交流プログラムは、日米両国政府（文部科学省と米国国務省）で資金を分担し、日米教育委員会主催、Institute of International Education (IIE) を運営パートナーとして2020年8月に実施します。

本プログラムでは、日米両国の中学校、高等学校でICTを学校教育現場に導入している、または導入する具体的な予定を持ち、日米間での交流を推進する意欲のある現職教員を対象に、「ICTを活用し“宇宙と地球”を使った授業づくり」をテーマとして、日米間で教員の相互交流、意見交換、共同研究を行うことにより、日米の教育交流を図ることを目的としています。

参加者自身が取り組み、共同で大きなアウトプットを求められる参加型プログラムです。今回募集する15名の日本側参加教員は15名の米国側教員とともに2020年8月に約1週間の日程で米国ハワイ州に滞在し、5日間の会議に臨みます。



この5日間の会議では、学びの場におけるICTの役割と可能性、21世紀型コンピテンシー、教育を通じた日米交流、等についての講義・ワークショップの実施、学校・関連施設訪問をいたします。日米両国の参加教員は、全日程を通じて学びと交流を深め、最終的に「宇宙と地球」を題材にICTを活用した交流授業（共同プロジェクト）を立ち上げます。プログラム参加後には報告書の提出（全2回）が義務付けられます。

「宇宙と地球」を題材にしたプログラムですが、理数系教員に限定したプログラムではありません。

地理歴史、食育、文学、など教科横断的に扱うことが可能な題材です。



- 栄養について学習したのち、「宇宙食」を開発する（家庭、保健体育）
- 国際宇宙協定について討論し、新たな協定案を作成する（社会）
- ガリレオの発見の社会的意味を考察する（歴史）
- フィールドトリップや実験に基づいて短編小説を書く（国語、英語）
- 衛星から送られるデータを活用して地図を作製する（地理）
- 天体や星座に関する文学作品や民話を用い、比較文化研究（国語、英語）

これはほんの一例です。

日米参加教員の皆様の創造力と想像力で、深い学びにつながる共同プロジェクトを開発してみませんか。

【募集要項発表】

募集要項を下記URLもしくはQRコードから確認の上、
参加希望教員ならびに推薦者がそれぞれ応募手続きを完了してください。

応募登録開始予定日：2020年2月18日(火)正午

日米教育委員会（フルブライト・ジャパン）

広報・特別交流事業部「ICT日米教員交流プログラム応募係」
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-14-2 山王グランドビル207

www.fulbright.jp/sep/



ICT日米教員交流プログラム

【選考日程および結果通知】（2020年1月15日現在予定）

2019年12月	募集発表
2020年2月中旬	オンライン登録 開始
2020年4月中旬	オンライン登録 締切
2020年4月～5月	書類審査実施・書類審査の結果通知
ご登録いただいたメールアドレスへ結果を通知します。 書類審査通過の方はオンライン面接となります。	
2020年5月31日	面接審査実施 オンライン面接
2020年6月上旬	面接審査の結果通知
ご登録いただいたメールアドレスへ結果を通知します。	



【応募要件】

- ◆ 日本国籍を有している学校教育法に定める中学校、義務教育学校（中高対象）、高等学校、中等教育学校、特別支援学校（中高対象）、及び都道府県・各市町村教育委員会に勤務する教員
- ◆ 中高等学校の免許を取得している場合でも、応募時点で中高等学校に勤務している教員
- ◆ 5年以上の教員経験がある者が望ましい
- ◆ 主幹教諭、指導教諭、教諭、指導主事、社会教育主事
- ◆ 学校長もしくは教育長からの推薦状が得られる者
- ◆ プログラム参加準備期間から参加中ならびに参加後も積極的に日米相互交流を深める活動に取り組む姿勢を持つ者
- ◆ 心身ともに健康で団体の一員としてプログラム全期間に参加可能な者

注1：プログラム期間中は日英通訳がつくので、英語でのディスカッション能力は必須ではありませんが、参加者はその後の交流のために日常英会話程度はできること、言語能力いかにかわらず積極的に米国側参加者と関わることが求められます。

注2：プログラムの目的としてICTの活用がありますので、参加教員はプログラム参加準備期間からメール、データのやり取りを含むパソコンスキルが求められます。また、プログラム参加時にはノート型パソコンもしくはタブレットを持参することが必須となります。

注3：過去にJFME教員プログラム、ESD日米教員交流プログラムの参加経験がある場合でも、「宇宙と地球」という題材を自身の教える教科で扱えることを示せば応募いただけます。

【スケジュール案（2020年1月15日現在予定）】

8月2日（日）	東京集合、出発前オリエンテーション、米国ハワイ州ハワイ島へ出発、同日到着
8月3日（月）	講義、米国教員と交流ワークショップやディスカッション
8月4日（火）	関連施設への訪問
8月5日（水）	講義、ワークショップ、共同プロジェクト企画のためのグループディスカッション
8月6日（木）	共同プロジェクト企画のためのグループディスカッション
8月7日（金）	共同プロジェクト発表、まとめ
8月8日（土）	東京に向けて出発
8月9日（日）	東京着（お住まいの地域により最終便・最終列車に間に合わない場合、後泊となります）

【参加費】

本プログラムに参加するにあたっての下記費用は主催者側が負担します。米国への渡航費、宿泊費、海外旅行保険、自宅最寄の空港～羽田空港、またはご自宅最寄の新幹線駅～東京（品川）駅の交通費、食費（一部除く）及びプログラムに関わる雑費。

【お問い合わせ】

ウェブサイトより「お問い合わせフォーム」をご利用ください

